

入試概要
総合型選抜
公募型学校推薦選抜
英語
英語
数学
英語
生物
化学
英語
国語
一般選抜
一般選抜英語
一般選抜日本史
一般選抜世界史
一般選抜生物
一般選抜化学
一般選抜数学
一般選抜国語
音楽実技

公募型学校推薦選抜 出題のねらい

国語

A方式・B方式ともに、国語の基礎学力を試す問題です。じっくりと問題文を読んで慎重に取り組めば、正答を導き出せるようになっていきます。

日頃から基礎的な知識、現代文であれば漢字や語彙の知識を増やすことや、古文であれば古典文法や単語、漢文の訓読のきまりなどを理解すること、またどちらも文学史を理解し知識を増やしていくことが必要です。問題を解いていく上では、それら基礎知識をどれだけ持ち合わせているかに加え、いかにそれを応用して解いていくかも重要です。日頃から、現代文も古文も教科書に載っている文章に加えて、自分でできるだけ多くの文章に触れて読解能力を高めていくことを心がけましょう。

国語の能力は、大学に入学してからも、また卒業して社会に出てからも、必ず必要とされるものです。今のうちにいかに多くの知識や能力を身に付けておくかが、これからの生活にも大きく関わってきます。そして単なる能力にとどまらず、多くの優れた文章に触れることは、心を豊かにし、人間性を高めることにもつながります。楽しみながら文章を深く読んでいくうちに、国語の能力も自然と向上するのではないのでしょうか。

A方式

現代文の問題文は一見難しそうですが、じっくりと読めば理解しやすいでしょう。ただ、難しい言葉も多いことから、意味の把握に苦戦したかもしれません。漢字の問題では、④の正答率が低く、50%未満でした。文脈からそれぞれの選択肢の漢字を特定してから選ばなくてはなりません。また、問三の⑪と⑫の語彙の意味を問う問題も、それぞれ30%台、40%台と低い正答率でした。漢字の問題も含め、日頃から語彙力を高める努力をしておきましょう。言葉の意味を勘違いして覚えていることもありますから、こまめに辞書を引く習慣は必要です。問二の接続詞を問う問題では、90%を超える正答率の選択肢もありましたが、⑦だけが50%台と低いものでした。一読しただけでは選択肢が絞りにくい箇所ですが、「同じ記号は一度しか選べません」という条件がありますから、分かりやすい空所から埋めていけば、自ずと解答は導き出せるはずですが、問五、問七、問八は、内容把握に関わる問題ですが、正答率はそれぞれ50%台、60%台、40%台と比較的低いものでした。長い選択肢をそれぞれ正しく把握するのは難しいことですが、落ち着いて問題文のどの箇所に対応して、どこが違っているのかを把握しなくてはなりません。問五の⑩では「適当でない」ものを選ぶので、他の四つの選択肢は問題文に合致しているはずですが、問題文にない内容は、選択肢③で「若手とされる人々の」「成長する機会」を奪うのは「評価の定まっている人たちの」「意見や専門知識に左右」されることです。「次世代の人材」について問題文中にどう述べられているかをもう一度読み直すと、誤りに気付くはずですが、問七の⑬では、各選択肢に共通してある「昨今の日本」「リーダー不在」「統治される能力」のキーワードを手がかりに、問題文を確認します。後半にある「昨今の日本の政治機能の不全と「リーダー不在」は、まさにこの「統治される能力」の不足と表裏一体をなす」という記述が大きな手がかりとなりますが、それ以前の文脈とも合致しているかどうか考える必要があります。問八の⑭は選択肢の文章の長さにも惑わされるかもしれませんが、それぞれの表現を問題文と丁寧に照らし合わせて、合わない部分を見つけていけば、正答にたどりつけるはずですが、文学史の問題も⑯の正答率は低かったため、できるだけ知識を身に付けておきましょう。

古文の問題文は、石清水八幡宮の靈験譚です。養女を持つ夫婦が登場し、養父と養女との親密な関係を妬んだ養母が石清水八幡宮に養女を殺して欲しいと願ったところ、その原因となった養父

を殺します。それにより養母は養女と共に仏道に入ることを決意する物語です。文意を把握するのが少し難しかったのか、全体的に正答率は低いものでした。問一で、敬意の方向を問う問題は、文脈を正しく理解する鍵となります。③と⑤の正答率は60%台、50%台と比較的低かったのですが、傍線部Bは僧が「女房」に「(八幡神に)どういふことを申し上げたのか」と尋ねているので、敬意の対象は「申し」が八幡神、「給ふ」は養母です。⑦も正答率は40%台でしたが、「に」の識別は重要な文法事項ですので、しっかりと理解しておくことが必要です。問二は⑧・⑨とも30~40%台の正答率でした。「誤っている」ものを選ぶという点も、勘違いのないよう気をつけましょう。A群の⑧は「とぶらはれむ」の「む」は意志ではなく婉曲、B群の⑨はbの「みすれば」も二つの単語に分けられます。問三は漢文の問題で、やはり正答率は50%でした。難しくそうですが、漢文の基本的な知識があれば解ける問題です。「しかじ」には「如かじ」「若かじ」「及かじ」が当てられる可能性があります。①は「所以」、②「所」、③「使」、④「何如(如何とも)」、⑤「況」で、④の「如」が該当します。問四の⑪「ゆゆし」には多くの意味がありますが、ここでは武内大明神の様子を言っているので①が正解です。⑬は最も正答率が低く10%台でしたが、⑤の「お相手」が正答です。知っている意味だけでなく、養女の言葉をよく読んで文脈から意味を推測することも必要となります。問六の⑭も正答率50%未満でしたが、「合致しない」ものを選ぶ点に注意しましょう。問題文中に「北に向かひて鎗矢を放ち給ふ」とあります。問七の⑰の正答率が低かったのですが、養女の「科」は養母が語っている「養父に心をひとつにし、よなよな通ひし」ことです。問八は、問題文と照らし合わせながら、それぞれ食い違う点を見つけていきます。例えば①は「自らだけでなく夫の菩提をも弔ってもらうために」、②は「夫の菩提をひたすら弔おうと」が問題文に合いません。問九の⑱は「合致しない」ものを選ぶことに注意が必要です。①は神が「養父の方を殺すことにした」理由が間違っています。全体の文意を正確に把握していれば、容易に解ける問題です。問十の文学史の問題も、正答率は50%台以下と低く、とりわけ⑳は20%台でした。日頃から文学史の知識も蓄えておくことが大切です。

B方式

現代文の問題は少し長く難しく思えますが、しっかりと読んでいけば理解しやすい内容です。全体の正答率は、問題によって80%~90%台の高いものと、10%~20%台の低いものと大きく分かれました。問一の漢字問題の中では、④が20%台の正答率でした。「外在」という言葉は耳慣れないかもしれませんが、文脈から推測することも必要です。自分の問題行動を「一度単なる現象としてとらえる」のですから、その人の「外」に置くという意味だと推測して漢字を考えるのです。問二・三はほとんど90%を超える高い正答率でした。問四では⑭と⑰が20%台の正答率でした。⑭の「範例的」もなじみのない言葉ですが、前後の文脈から他の選択肢は除外されます。「意志」について「悲劇」を題材に考える理由だということからも推測が可能です。⑰は問題文の空所工の前に「仕方なく、意志の概念を使って無理矢理に責任を押しつけている」とあるので、マイナスのイメージの言葉と推測できます。問五の⑱も正答率20%台でしたが、語彙の知識は日頃から身に付けておくことが大切です。問六の⑳は、正答率が10%台で最も低いものでしたが、問題文の引用文の後で「両項を肯定する」とあることから、④以外の選択肢は当てはまらないことが分かります。問八の㉒は正答率20%台でした。ここではリヴィエの説についての説明なので、前の二つの段落の中にそのヒントはあります。問九は問題文全体の意味把握に関わる重要な問題ですが、正答率は40%台・20%台と低いものでした。「一致しない」ものを選ぶ点に

も注意が必要です。A群の㉓では④「主体の意志の強さによって左右される」が、B群の㉔では③の「人間的因果性と神的因果性が両立しうる」が誤りです。

古文の問題文は、ある弓の名人が狸を射た逸話から教訓を説くもので、文章は難しいものではありませんが、正答率の低い問題も多く見られました。問一は「いる」に当たる漢字とその活用を問う問題です。㉑を除き「射る」が当たり、㉗が正答ですが、㉓のみ正答率10%台でした。直前に「かね」とあるために「鑄る」を選んだかもしれませんが、慎重に意味を考えれば正答が導き出せるはずですが。問二の現代語訳の問題では㉑の正答率が30%台と低いものでした。「やをら」は「そっと、おもむるに」などの意、「はたらく」は「動く」の意ですが、ここでは「動こうともしない」ので現代語訳としては「いっこうに」といった解釈が適切です。問三の㉑は「いかさまに」の意味を問う問題ですが、正答率は30%台でした。「いかさま」からイメージする固定概念に縛られることなく、文脈から意味を考えることが必要です。問五・問六も文の意味を問う問題ですが、正答率は20%台でした。問五の㉑は何に「まして」な

かを考えます。ここでの狸の悪だくみにまさる「人なんどの智」なので、「人の悪知恵」と考えられます。問六の㉒も「まつげ」が何を意味するのか考えると、目に一番近いところにあるものであること、また「秘事」の意味を正しく理解することが必要です。問七は、『沙石集』からの問題ですが、(1)の㉑の正答率が低く、20%台でした。烏帽子は必要ではないにもかかわらず、烏帽子までも用意して、という文脈です。空所の後に「も」とあることも、手がかりとなります。問八は『今昔物語集』の文章を読んで答えるものですが、正答率は80%~90%台と高いものでした。ただ最後の(3)の㉑は50%台でした。やはり文学史の知識を蓄えておくことも忘れないようにしましょう。問九は漢文に関わる問題です。(2)の㉒は正答率40%台でしたが「矣」はここでは断定の意味の助字です。漢文についても基本的な事項は押さえておきましょう。(4)の㉑は、問題文全体の解釈にも関わる重要な問題ですが、正答率は最も低い10%台でした。筆者が何を言いたいのか、正確に全体を把握しよう心がけましょう。

入試概要
総合型選抜
公募型学校推薦選抜
英 公募型学校推薦選抜 語
数 公募型学校推薦選抜 学
生 公募型学校推薦選抜 物
化 公募型学校推薦選抜 学
国 公募型学校推薦選抜 語
一般選抜
一般選抜英語
一般選抜日本史
一般選抜世界史
一般選抜生物
一般選抜化学
一般選抜数学
一般選抜国語
音楽実技

国語 ①

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は 1 ～ 20。

世紀が新しくなったということは、やはり特別な意味をもつ。人間が天文学的に時を計算し、暦を作り、新しい年を祝い、「世紀」という概念を導入したときには、社会制度的に重要な働きが含まれているからだ。

人間の好みや意見は移りやすい。今日あることを決断しても、明日にはまったく別のことに関心が向かい、昨日の決定をヨウイにくつがえしてしまつてしまうことがある。個人差はあるが、概して人間の自己規律の能力は完璧にはほど遠い。

「自己規律」は難しいのである。そこで暦を用いて時を区切り、人間は自己を精査し、自己確認し、合理性や首尾一貫性をめざす機会をつくろうとしてきた。時の循環性と「区切り」を意識することによって、われわれは、厄介な自己をできる限り規律づけようとしてきたのだ。「新年の決意」や「新世紀にあたっての心構え」をばかばかしと笑つては、人間精神の弱さに対する無理解から来るといってもよい。心構えや危機意識の持ち方が、人間や国家の将来を大きく左右するということを決して忘れてはならない。個人の規律はなくして、国家の規律はありえないからだ。

このように理解しつつ、「新しい世紀」の日本の姿を描くというなるだろうか。一般にはベシミアムが支配的であるが、明らる。材料もある。材料を生かすも殺すもわれわれ次第であるから、歴史決定論的な測は基本的には慎むべきである。日本がこれから活路を見出せるか否かは、まさにわれわれの思いと行動にかかっているからだ。その際、「この点」にリユウイしなければベシミアムがそのまま実現しかねない、というポイントがいくつかある。いづれも国家統治と「時間」あるいは「スピード」という点に関連している。

ひとつは「時間がない」という理由から、われわれの「事実」を把握する力、粘り強く論争する能力、良いものを生み出す意欲が、キョクタンに低下したのではないかと懸念がある。

人材の育成や発掘に、一世代前ほど時間をかけなくなつてしまつたのではなからうか。時間をかけて次世代を育てるといふ体制が失われつつある時、人材を獲得するための最もヨウイな方法は、すでに評価の定まつたものだけを奪い合うというやり方である。

他面、こうした姿勢は、組織のリーダーは「古顔」にまかせればよいという考えとドウキョシしがらになる。選抜に時間をかけずに、「古顔」にまかせておくのが手つとり早いからだ。その結果、組織の若返りが難しくなり、改革も進まなくなる。

8 高齢化が、若い次世代の人材育成をさらに阻むという悪循環が生まれる。

9 日本は、組織の要職に就く人間が世界相場から見てもかなり高齢化している国のひとつであらう。もちろん例外もあるし、経験が重視されるという高齢化の良さもある。高齢者の判断のほうは、若い人のそれより、スピードを別にすれば、よりの確なことが多いのは確かかもしれない。10 能力をハッキできそうなら若い人が、成長する機会を十分に与えられないことは、人的資源の大きなロスになる。

さまざまな活字や映像のメディアが登場する人材も同じである。同じ人物が何度も現れ、同じことを繰り返す。人材の発掘や育成にコストを払わず、すでに出回っているものを利用するという姿勢がここにもある。

その最大の弊害のひとつは、専門的知識が軽視されるということであらう。いかに有能であっても、ひとりの人間が知っていること、考えることには限界がある。したがって近年のこうした傾向は、国民がきわめて限定された情報にさらされつつけていることを意味している。専門知識を軽視する傾向は、国民の個々の事実認識能力をいちじるしく低下させるだけでなく、新しい形の画一主義を生みかねない。マスメディアが均質な情報を流すということは、国民を多様な情報や専門的な考えから遮断するということである。

元来、意見というものは、それが本来持っている価値に比例して重みをハッキするものではない。繰り返された意見が人々に染み渡り、強い影響を及ぼすというケースのほうがむしろ多い。ただでさえマスメディアからの情報は均質化しているのに、行政からの干渉でメディア情報を規制するという発想はどう考えても受け入れがたい。

実はこの点は国家統治とも深くかかわってくる。統治のリーダーシップはもろろん重要であるが、同じく重要なのは、リ

下される能力、あるいは「統治される能力」であらう。リベラル・デモクラシー（自由な民主制）の存立にとって不可欠な条件は、意見を異にする者同士が、* する知恵をもっているかどうかということである。自分と異なる意見を尊重し、それと* するという矛盾に満ちたりべラル・デモクラシーの本旨は、もともと自然に反するところがあった。したがってその定着と維持には、意識的努力が不可欠なのである。

かつては独裁権力が意見の画一化を強制しようとしたが、いまや権力の中核にある「大衆」が、同じことをほとんど無意識に実行しようとしている。「大衆は、大衆でないものとの* 望まない」と看做したスペインの哲学者オルテガは、「* への意志」を不すりべラル・デモクラシーを、「人類がかくも美しく、かくも矛盾に満ち、かくも優雅で、かくも曲芸的、かくも自然に反することに到着した」と述べている（オルテガ「大衆の反逆」）。

ひとつの社会の知識が高度化するということは、さまざまな変化への対応能力を高めることである。しかし同時に進行する知識の均質化が、社会の活力を奪い去るという側面もある。米国社会は、異質な社会的・文化的背景をもつものを受け入れつつけてきた。この歴史的事実の中には、若いエネルギーを取り入れてきたということ、周辺の文化圏から異質な力を吸収してきたということが含まれる。この吸収プロセスこそ、リベラル・デモクラシーの下で、国民の「統治される能力」が鍛え上げられ成熟化する過程であった。「統治される能力」を持つ者の中から善きリーダーは選ばれる。誰もが喉く味方の日本の政治機能の不全、「リーダー不在」は、まさにこの「統治される能力」の不足と表裏一体をなす。

こうして人とシステムの整備には時節をかけるべきだが、同時に意思決定のほうは迅速化されなければならない。民主政治が、討論と合意に基礎をおく以上、迅速な判断に過ぎないことはあらためて指摘するまでもない。

しかし現実には、経済活動が地球規模に拡大し、経済に関する情報の流れがますますスピードを増し、現場の情報を必要としない分野が格段に増えた。このような仮想的現実の下で展開される活動（典型的には一部の金融取引）が大きなウェイトを占めるようになった現在、時間がかかるという民主政治の欠陥は、ますます深刻になりつつある。政府の機能の中で、経済的なものが増大してしまつた現実を考えると、民主的プロセスを経るべき問題と、緊急の判断を要す例外問題とを差別するこ

とが必要になってきた。しかし、ここにひとつの矛盾が含まれている。政策決定をスピード・アップするということは、決定機構を集中化するということでもある。これは決定を民的手続きに委ねないわけであるから、いわゆる「参加」を標榜する近年の時代の流れと逆行するシステムを構築することになる。これらの「国家統治」に必要な精神的態度は、こうした「矛盾」を矛盾しない形に「区別」し、使い分けていくことである。そのためには最近の日本を覆う惨めな混乱とわれわれのシマリのなさを反省し、緊張感を回復する必要がある。福沢諭吉の名言をもじると、「一身を統治して、一国の統治なる」ということであらうか。これこそ、ガヴァナンス（統治）の真の意味なのである。

（根本武徳 自由と秩序——競争社会の二つの顔——による）

注1 ベシミアム／ベシミスティック＝物事を悪い方へばかり考えがちな態度。または、そうした態度をもっている様子。
注2 オルテガ＝オルテガ・イ・ガセット（一八八三—一九五五）。スペインの哲学者。

問一 一部 a・e の漢字と同じ漢字を含むものを、それぞれの①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は、**1**、**5**。

- a ヨウイ ① ダイドゥンヨウイ ② 見解のソウイ ③ ケンイを振りかざす ④ 仕事のナンイは問わない ⑤ フョウイな発言
b リュウイ ① 発表をホリユウする ② リユウキした土地 ③ 人とのコウリユウ ④ リユウジョウの葉 ⑤ リユウトウダビ

- c キョクタン ① タントウした案件 ② タンテキに説明する ③ タントウチヨクニユウ ④ タンケンタイによる調査 ⑤ タンリョクのある人
d ドウキヨ ① 市内にキョジュする ② イツキョリョウトク ③ 入学のキヨカを得る ④ 提案をキヨヒする ⑤ 生活のキヨテン

- e ハツキ ① スウキな運命 ② ジントウシキ ③ ハンキを翻す ④ 責任をホウキする ⑤ ケツキ集会を開く

問二 6、10 解答番号同じ)に入る最も適当な言葉を、それぞれの①～⑦の中から一つずつ選び、マークしなさい(同じ記号は一度しか選べません)。

問三 線部甲・乙の意味を、それぞれの①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は、甲が**11**、乙が**12**。

- 11 甲 看破 ① 堂々と自分の意見を述べること ② 自分にはかなわないと、強く感じることに ③ 大声で叱りつけ、批判すること ④ 攻撃して、敵や相手をうちやぶること ⑤ 表に現れていない物事を見抜くこと

- 12 乙 標榜 ① 目印となるような自己の目標を立てること ② 主義主張や自己の立場を、公然と示すこと ③ 人びとの主義主張や立場を、広く伝えること ④ 特に目的や目標のないまま、さまようこと ⑤ 自分の意見を加えて、主義主張を解説すること

問四 線部(一)「首尾一貫」と、線部(二)「矛盾」と同じ構成(組み立て)の熟語を、それぞれの①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は、(一)が**13**、(二)が**14**。

- ① 喜怒哀楽 ② 異口同音 ③ 主客転倒 ④ 起承転結 ⑤ 生殺与奪
(一) 矛盾 **14**
(二) 利害 ① 利害 ② 利潤 ③ 利益 ④ 利他 ⑤ 利息

問五 線部1「その最大の弊害のひとつは、専門的知識が軽視されることである」とありますが、その説明として適当でないものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は**15**。

- ① 次世代の人材を発掘・育成することなく、均質化された情報が発信され続けることによって、国民が事実を把握する能力が低下し、多様な情報や専門的な考え方に触れることができなくなってしまうこと。
② 時間がないという理由で次世代の人材の育成をせずに、すでに評価の定まっている人材を登用した結果、意見や情報が画一的なものとなり、それらと異なる専門的知識は、一般の人々にとっては関係がないものとして軽んじられること。
③ 次世代の人材を育てることをせずに、すでに評価の定まっている人々ばかりを重用することによって、若手とされる人々はとうとうした人たちの意見や専門的知識に左右されて成長する機会がなくなってしまうこと。
④ ひとりの人間の知識や考えには限界があるため、さまざまな意見や情報に対して、人々はすでに評価の定まっている人々によって繰り返し発信される意見や情報に強く影響を受けやすくなってしまっていること。
⑤ 次世代の人材を発掘し育成することなく、すでに評価の定まっている人材を登用することで、マスメディアは均質な情報だけを流すようになり、国民は多様な情報や専門的な知識から遮断されてしまうこと。

問六 * に入る言葉を、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は**16**。

- ① 合意 ② 共存 ③ 生活 ④ 受容 ⑤ 協力

問七 線部2「同時に進行する知識の均質化が、社会の活力を奪い去るという側面もある」とありますが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は**17**。

- ① 昨今の日本では、知識が高度化することでわたしたちはさまざまな変化に対応できる一方で、「大衆」に目を向けてこなかったために政治機能の不全と「リーダー不在」を招き、リベラル・デモクラシーにおける国民の「統治される能力」が成熟できていないということ。
② 昨今の日本では、知識の高度化の影響を受けることによって、権力の中枢にある「大衆」が同じ行動をほとんど無意識に実行しようとするため、異質な社会的・文化的背景をもつものを受容しても政治機能の不全と「リーダー不在」は解消されず、国民の「統治される能力」は成熟できていないということ。
③ 昨今の日本では、知識の高度化に伴って次世代に向けた人の育成とシステムの整備に時間をかけると同時に、討論と合意に基づく民主政治の意思決定が画一化され、国民の「統治される能力」の成熟が果たされることがなく、政治機能の不全と「リーダー不在」が未だ課題であり続けているということ。
④ 昨今の日本では、知識の高度化の一方で意見の画一化が強制されるために、さまざまな変化に対するわたしたちの対応能力が高まることなく、リベラル・デモクラシーに不可欠な政治機能の不全及び「リーダー不在」によって国民の「統治される能力」が成熟していないということ。
⑤ 昨今の日本では、知識の高度化と同時に多様な知識や情報に触れる機会が進行し、若いエネルギーや異質な社会的・文化的背景を吸収せず、政治機能の不全及び「リーダー不在」と密接に関わりながら国民の「統治される能力」が成熟していないということ。

問八 問題文の内容と最も一致するものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 18。

① 人間の好みや意見は移ろいやすく、概して人間の自己規律の能力は完璧にはほど遠い一方で、心構えや危機意識の持ち方が人間や国家の将来を大きく左右する。そのため、今後、個人としての自己の規律なくして国家の規律はあり得ないということをおぼろげに忘れることなく、「参加」を標榜する近年の時代の流れと逆行した「国家統治」のシステムの模索が必要となる。

② 次世代を育てる体制が失われ知識や情報の均質化が進行することで、多様な情報や専門的な考え方が遮断されている日本において、国民には「統治」のリーダーシップと「統治される能力」の両方が重要となる。しかし、政策決定をスピード・アップすることによる決定権の集中化が民主的手続きと矛盾する状況も見られるため、これからの国家統治にとって、こうした矛盾を矛盾としてとらえずに使い分けていく精神的態度が必要となる。

③ 日本は組織の要職に就く人間が世界相場から見てもかなり高齢化している国のひとつとなっており、若い人が成長する機会を充分に与えられていない。そのため、「新しい世紀」の日本にとって、時間をかけた人材の育成発掘に力を注ぐことによって国民の「統治される能力」を成熟化させ、「統治される能力」を持つ者の中から善きリーダーが選ばれる体制を築くことが必要となる。

④ 「国家統治」と「時間」あるいは「スピード」の視点がポイントとなるなか、民主政治において時間がかかるという欠陥は日本で二層深刻となっており、民主的プロセスを経るべき問題と緊急の判断を要する例外問題とを識別することが求められてきた。これは、民主的手続きを経ない決定機構の集中化も招くことになるため、今後国民のリードされる能力ないし「統治される能力」をリベラル・デモクラシー存立の条件にする必要がある。

⑤ 今日、地球規模な経済活動が拡大し、経済に関する情報のスピード化が加速化しているため、個人としての自己の規律なくして国家の規律はあり得ないとする精神的態度を心がけることが国家統治にとって重要となる。また、今日の日本は、専門知識の軽視が国民の事実認識能力をいかに低下させ、新しい形の画一主義を生みかねない状況にあるので、今後は周遊の文化圏から異質な力を吸収することも必要となる。

問九 線部3「福沢論吉」について説明した次の文を読み、19・20に入る書名を、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選びなさい(同じ記号は一度しか選べません)。解答番号は 19・20。

福沢論吉(一八三五―一九〇二)は、明治維新期に封建的思想批判等を通して当時の文明開化を推し進めた人物の一人である。明治五(一八七二)年に刊行し、実学を学ぶことを奨励した「19」は、その初編から第十七編までの発行部数が、あわせて三四〇万部ほどだったという。また、明治八(一八七五)年には、西洋近代の文明を摂取することによる日本の独立の確立を主張した「20」を刊行した。

- ① 西国立志編 ② 舞姫 ③ 三四郎 ④ 民約訳解 ⑤ 文明論之概略 ⑥ 西洋事情 ⑦ 学問のすゝめ ⑧ 経国美談

(国語①問題 おわり)

国語②

次の文章は、石清水八幡宮に祀られる八幡神の靈験などを記述した、「八幡愚童訓」という作品の一節です。読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は 1・22。

たとひ手足をはこび身心を尽くせども、後生のさりとるべきことをば、聞こしめし入れぬことなるゆゑに、中七〇都に夫婦ありしが、一人の子なくして女子一人やしなひけるほどに、やうやう生長、面貌もなだらかにりければ、養父これに心をかけしかば、養母ふかくねたみて、当社に参りて、このむすめを召し取り給へと祈念せしほどに、その夜、かたはらに眠したる僧の、夢にみるや、御殿のうちより「武内」と召す。武内とおぼしめて、ゆゆしき御けいにて、御香の音だけだかして、しづしづとあゆませ給ひて、正面にひざまづき給へり。御殿より被仰て曰く、「この女房あまりに嘆き申すことあり。よきやうに相はかるべし」とあれば、武内申さく、「この女房が申すことにかなへ候はば、その罪ふかくして地獄に落べく候。中柱をたたく候ふ」とて、西門の下に出で給ひて、「貴船」と召す。貴船とおぼしめて、白髪なる老翁参り給ふ。武内の仰せけるは、「この女房が申すむねありといへども、所詮中柱をたたくべきなり」と承りて、北の門に出でて、北に向かひて鐘矢を放ち給ふ。その音おびたしき聞くに聞えければ、この僧おぼろぎて、あせたり、むねさわきり。あまりにおぼつかなく、女房に、「いかなることを申し給ひて。かかると不思議の夢を見つるなり」と語りければ、何とも言ひわかず、やがて東の門の方へ出でけるに、京より使ひ走り、「今夜殿のうなじに腫れものにはかみ出でさせ給ふ。医師にみすれば、三日かたじなり。今は療治も聞えがたしと申し候ふなり」と告げたりければ、いかやうにも急ぎ下向すべしとて、宿所にいたりてみれば、夫は、わが命三日につづまると知りて、万事を忘れて一筋に念仏申して臨終正念にしてはりけり。定めて弥陀の来迎引接にあづかるんとおぼえたり。

ここに本妻の思はく、我、養子の娘を恨みてこそ召し取り給へと呪詛をいたしつるを、罪業を除き給はんとの御方便にて中柱を失はせ給へる神慮、よくよく奉ずるにたがひなく辱し。年ごろ相つれて浅からぬ契りある夫の命失せぬこと、その由来をたづねれば、嫉妬のほむらよりおこれり。かへすがへすもあさまし。髪をそり衣を染めて誠の道に入らんにほしかじ。懺悔のためとて養子の女房を呼びよせて打ちひけるは、「われ一人の子を持たざりしによりて、なんぢを幼少の時より養ひ立てしは、老いの病ひをも助けられ、後生をもとぶらはれむためなりき。しかるに、養父に心をひとつし、よきよき通ひしを、われ深くねたましく、願ひの思ひたへかねて、八幡へ参りて汝を召し取り給へと心肝をくだきて祈り申したりしに、傍らに通夜したる僧に示現し給ふにたがはず、中柱をたたく候ふ。後生定めて救ひ給ふらんとしければ、別のみちの悲しさは、ありし名残もたはれ、わが身科もおそろし。つらつら罪をかへりみて、さまをかへ念申し、亡者をも申ひ、後生をもたすからばと思ふなり」と申しければ、この娘、涙にむせびて申しけるは、「かやうに打ちとけ承るこそは、かへすがへすもありがたく候へ。養育の御恩いかでか忘れ候ふべき。よろづはばかり多けれど、女人の習ひにて心ならぬ子細なり。くはしく申すにをよばず。今はただわが身の科をゆるし給へ。おなじく尼になりて、かけのことくしたがひ参らせて、念仏の御いさをしたてまつらん」とて、二人の尼、誠の道にぞ入りける。

(「八幡愚童訓」による)

注1 武内 武内大明神。石清水八幡宮に、武内大明神を祀る摂社・武内社がある。
注2 貴船 貴船明神。石清水八幡宮に、貴船明神を祀る末社・貴船社がある。
注3 鐘矢 鐘矢の形をしたものを先に付けた矢。飛ぶ時に大きな音を立てる。
注4 臨終正念 臨終の際に心静かに乱れないこと。極楽往生のための必須条件とせられていた。
注5 引接 阿弥陀如来が極楽浄土に導くこと。なお、八幡神の本地は通常、阿弥陀如来だと認識されていた。

問一 線部A「被仰て」、B「申し給ふにや」について説明した次の文章の1～7 解答番号同じに入
る最も適当なものを、それぞれ後の①～⑥あるいは①～⑦、①～③の中から一つずつ選び、マークしなさい。
Aは、尊敬の意の助動詞を含んだ形で、「1」（歴史的仮名遣い）と読む。Bの「申し」も「給ふ」も、
意を示す。2 の敬意を示す敬語で、「申し」は3 に対する敬意を示す。4 「給ふ」は5 に対する敬
意を示す。6 である。Bの「に」は7 「や」は疑問の意の係助詞である。

- 1 おおせせて
2 おほせせて
3 おおせられて
4 おほせられて
5 おおせられて
6 おほせられて
7 おおせられて
- 1 作者 2 読者 3 八幡神 4 僧 5 養父 6 養母 7 養子の女房
1 作者 2 読者 3 八幡神 4 僧 5 養父 6 養母 7 養子の女房
1 作者 2 読者 3 八幡神 4 僧 5 養父 6 養母 7 養子の女房
1 作者 2 読者 3 八幡神 4 僧 5 養父 6 養母 7 養子の女房
1 作者 2 読者 3 八幡神 4 僧 5 養父 6 養母 7 養子の女房
1 作者 2 読者 3 八幡神 4 僧 5 養父 6 養母 7 養子の女房
1 作者 2 読者 3 八幡神 4 僧 5 養父 6 養母 7 養子の女房

問二 線部a「なだらかにりければ」、b「みすれば」、c「恨みてこそ」、d「とぶらはれむ」、e「たすからばや」につ
いて説明した、次のA群およびB群の①～⑤の中から、誤っているものをそれぞれ一つずつ選び、マークしなさい。
解答番号は8・9。

- 8 A群 ① aの中の「けれ」は、伝聞過去（間接過去）の意の助動詞である。
② bは、「医師に」見せると」という意味である。
③ cの末尾の係助詞「こそ」の結びは、消滅している。
④ dの末尾の「む」は、意志の意の助動詞である。
⑤ eの末尾の「ばや」は、願望の意の終助詞である。
- 9 B群 ① a～eいずれも、一つの文節から成っている。
② a～eのうちeだけが、二つの単語に分けられる。
③ a～eいずれも、一つずつ用言が含まれている。
④ aの末尾の「ば」とbの末尾の「む」はともに接続助詞だが、その意味は異なる。
⑤ 活用語の未然形が、dには二つ、eには一つ、含まれている。

問三 線部「しか」の「し」に当てることができるものと同一漢字が□に入るものを、次の①～⑤の中から一つ選
び、マークしなさい。解答番号は10。

- ① 不仁者業其所 □ 亡者。
② 先 則制人、後 則制人。
③ 民 衣食有、余、自不為、盜。
④ 以子之牙、隔于子之盾、何 □。
⑤ 死馬且買之、□ 生者乎。

問四 ……線部a「ゆゆしき御けいき」、b「三日のかさ」、c「御とき」の意味として最も適当なものを、それぞれ次の
①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は11～13。

- 11 a 「ゆゆしき御けいき」
神聖でそれぞれおおい御様子
不吉で忘まわしい御気配
威厳に満ちあふれた御有様
- 12 b 「三日のかさ」
① 三日で治るべきもの
② 三日間治療しても治らないべきもの
③ 寿命が三日縮まるべきもの
④ 三日で死ぬべきもの
⑤ 三日後の極楽往生を予兆するべきもの
- 13 c 「御とき」
① お話 ② お勤め ③ お勤め ④ お導き ⑤ お相手

問六 ……線部「要にみるやう」の「要」の内容と合致しないものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。
解答番号は15。

- 15 ① 八幡神が養母の祈りを聞き入れて、善処するよう武内大明神に命じた。
② 直接的には武内大明神の配慮によって、養父の方を殺すことになった。
③ 武内大明神が、養父の住んでいる京の方に向かって鎧矢を放った。
④ 石清水八幡宮から放たれた鎧矢が、大変大きな音を立てて飛んでいった。
⑤ 八幡神さらには武内大明神よりも下位の神として貴船明神が現れた。
- 問七 ……線部AとBの「わが身の科」は、どういう行為がもたらした「科」ですか。最も適当なものを、それぞれ次の
①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。（同じ記号を何度選んでもかまいません）。
解答番号は、Aが16、Bが17。
- 16 ① 神を恐わしたこと ② 神を煩わしたこと ③ 念仏を怠っていたこと
④ 人を殺したこと ⑤ 人を愛し過ぎたこと ⑥ 密通したこと
⑦ 深く嫉妬したこと ⑧ 不孝であったこと

問八 後半の段落における養母の心情として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。

解答番号は **18**。

- ① 自業自得とはいえず神によって殺された契り浅からぬ夫を哀れと思い、自らだけでなく夫の菩提をも申してもらうために、呪詛し取り殺そうとしたことを養女に告白し懺悔したうえで、出家しようとして決意を固めるまでになった。
- ② 深い罪業のために地獄に堕ちようとしていた自らを神が救ってくれたことに感謝しながらも、一方で、その結果として思いがけず命を失うことになった夫の菩提をひたすら申おうと、仏道に入ることを強く決意している。
- ③ 自らの誠に愚かな祈願にも配慮を惜しまなかった神に対しては敬意を払い、その祈願がもとで唐突に死んでしまった夫に対してはいくらか思慕の念を抱きつつ、養女の行く末が強く案じられて、共に仏道に入ろうと決意した。
- ④ いくら自らの後生を救うためとはいえ、自らの願ひとは違って長年連れ添った夫の方を殺した神に対して、いくらか疑問に感じつつも、自らを振り返り、その罪業の深さを改めて思い知って、出家を決意することになった。
- ⑤ 自らの後生を救うために、自ら祈願したとは違って夫の方を殺した神の配慮に感謝しつつも、夫と死別したことを悲しく思い、その原因となった自らの罪深さを思い返して、仏道に入ることを固く決意するに至っている。

問九

問題文の内容と合致しないものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **19**。

- ① 養母の願い通り養女を殺したのでは、後生を申う者がいなくなつて養母が地獄に堕ちることになるので、神は養父の方を殺すことにした。
- ② 養女よりも、養女に恋情を抱いた養父の方がそもそも悪いのだから、それで神は養女でなく養父の方を殺した、というわけではなかった。
- ③ 養母の心を砕いての必死の祈願の通りに、神が処断しなかったのは、そうしてしまつては養母の後生に支障が生じることになるからであった。
- ④ 神は養母の願いをそのまま聞き届けずに養父の方を殺したけれども、その養父も最終的には、極楽往生を遂げたらしく、後生を救われている。
- ⑤ 養母によって呪詛されながらも、神に殺されることなく済んだ養女も、養母との間にしこりを残すことなく、養母と共に出家することになった。

問十 次の文章を読んで、後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

一五四年に橘成季によって編纂された歌物語集『古今著聞集』には、母に連れられて石清水八幡宮に参籠した十七、八歳の娘が詠んだ和歌、

※身の憂さをなかなか何と石清水おもふ心はくみて知るらむ

が出てくる。また、十四世紀に成立した『徒然草』には、仁和寺の法師が石清水八幡宮に参詣したものの、付属の極楽寺や高良神社だけを拝して帰ってしまった話が見える。

(1) 一線部①～⑤の中から誤っているものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は **20**。

(2) 和歌案に含まれる修辭の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。

解答番号は **21**。

- ① 序詞と掛詞 ② 序詞と縁語 ③ 掛詞と縁語 ④ 枕詞と掛詞 ⑤ 枕詞と縁語
- ① 作者は、下鴨神社の神官の子として生まれた鴨長明である。
- ② 『新古今和歌集』が成立したのと同じ十三世紀前半に執筆された。
- ③ 『枕草子』や『徒然草』と同じく百以上の章段から成っている。
- ④ 仏教的無常觀を基調とした、中世隱者文学の代表作でもある。
- ⑤ 同じ作者による作品として、『無名抄』や『発心集』が知られる。

(国語②問題 おわり)

国語 ①

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は 1 ～ 24。

さきほど、古代ギリシアには意志の概念がなかったという話をしました。そうすると、刑事罰のようなものをどうやって下していたのかという疑問が出てきます。ギリシアにも故意に行つたこととそうでないこととの区別ははっきりとありました。故意にやつたことを「know（ヘコーン）」といい、故意ではなく行つたことを「know（アコーン）」といいます。つまり意志の概念はなくても、たとえば殺人とカシッテ致死とを区別する概念装置はあつたわけですね。9

「ギリシア悲劇における意志についての試論」(Phanous de la volonté dans la tragédie grecque) という論文のなかで、ヘコーンをフランス語の「volonté」(英語の「willingly」)に翻訳することはできないと言っています。たとえば、食欲や快楽の魅力に負けてやつてしまった場合も「ヘコーン」です。10

大変興味深いことに、動物の振舞いもヘコーンといわれます。このように考えると、ヘコーンと「意志的」が重ならないことがよく分かると思います。このことは、行為と行為者の関係がギリシアにおいては、それを常に意志を通してとらえようとする現代とは違う形で存在していたことを予想させます。ヴェルナンは上記の論文で、悲劇を題材にこの問題を考えてみました。

意志について考えるうえで悲劇というのは非常に「ア」的ですね。悲劇では、主人公が何らかの運命に巻き込まれ、自分の思ふとおりに行為できません。こうしたいけど、こうできない。あるいは、やつてしまったことが思わぬ効果を持つてしまう。悲劇とは行為と行為者の関係が鋭く問われるジャンルであるわけです。

ヴェルナンはギリシア悲劇における行為と行為者の関係についてのいくつかの説を検討しながらこの問題に取り組んでいます。もちろんギリシアには意志の概念がないことが大前提であり、とりあげられる研究者たちもみなそれを共有しています。

しかし、悲劇における行為と行為者の関係を解釈するにあたり、彼らのあいだには決定的に異なるニュアンスが見出されるのです。最初に言及されるのは、プルノー・スネルというドイツ人の学者です。この人は僕の「中動態の世界」でも引いた人で、「精神の発見—ギリシア人におけるヨーロッパ的思考の発生に関する研究」という非常に面白い本を書いています。そのなかでスネルははっきりと、ギリシアには意志の概念を表す言葉すらないと述べています。

しかし、どこかスネルには意志の概念を欲するところがあるようなのです。断固たる決断という心中の出来事こそが人間の行動の本質をなすという考えが、アイスキュロスのなかにはあらわれており、意志に連なる考え方がすでに古代ギリシアに胎しつづつあつたのだ—スネルはそうように述べるに至るからです。

ヴェルナンはそこで、アンドレ・リヴィエによるスネル批判を紹介しています。ヴェルナンはリヴィエのこんな言葉を引いています。「スネルは作品内で働く超人的な力、アナトーをほかにしてしまつて、しかし、そのような力こそが悲劇を悲劇たらしめるものである。悲劇について考えるときに重要なのは、人間が断固たる決意で何かをやろうとしても神的な運命によってホンロウされてしまうということです。それを抜きにして悲劇について語ることはできない。ただし、ギリシア悲劇のなかに、断固たる決意によって行動を生み出す人間のモデルがあるとスネルの解釈は十分だということになります。

リヴィエによれば、ギリシア悲劇において登場人物はたしかに葛藤の末に選択をせざるを得ない、それはともとしてつかなければならない道を選んでいくのです。だからそこに見出されるのは「選択なき決断」です。にもかかわらず人はその責任を取らねばならない。11

ギリシア人にとつての責任とは「自らの意図から完全に独立した責任」だとリヴィエは言っています。これこそがギリシアのな行為と行為者の関係なのだ、と。

ヴェルナンは、しかし、リヴィエの説にも満足しませんでした。12

リヴィエもまた、どこか「自立した人間」の像を救い出そうとして読めるからです。リヴィエもまた、スネルと同様に、ギリシア悲劇を読んでいるにもかかわらず、結局そこに近代的な自立した人間像を見取ろうとしないかとヴェルナンは指摘しています。

13

、ヴェルナンはそう考えるのか。彼はある意味で非常にシンプルな定式を提示しています。

人間の因果性と神的因果性は悲劇作品の中で混じり合うことはあっても、混同されることはない。(ギリシア悲劇における意志についての試論)

僕はこのヴェルナンの考え方に強く心打たれました。単にギリシア悲劇の解釈にとどまらない、非常に広い射程を持った考え方がここにはあると思います。どういふことか詳しくみていきたいと思います。

神的因果性とはある種の運命のことです。人は運命に巻き込まれて行為させられる、あるいは、みずからの行為が思つてもいなかつた効果をもたらしてしまふ。つまり、神的因果性においては人は運命の被害者です。他方、人間の因果性とはその行為を為した人間が為したことを指しています。つまり人間の因果性においては、人はある決定的な何かをもたらした加害者としてとらえられることになりまふ。

ヴェルナンが言っているのは、悲劇における登場人物たちには加害者である側面と被害者である側面が混ざりあつていますが、それらは決して混同されることなくその両方が肯定されているということです。一言でいえば、人は加害者であるが被害者であり、被害者であるが加害者であるということです。カント的にいえばアンチノミー(二律背反)であり、アンチノミーを構成する正反対の命題が両方とも肯定されているということです。

近代的な考え方は両者を肯定するといふ考えを認めないといふヴェルナンは言っています。神的因果性を認めることはその人を免罪してしまふことであり、人間の因果性に注目することはそれをもたらしたアナトーと呼ばれる運命の力を無視することだと考えられてしまふ。ところがヴェルナンによれば、ギリシア悲劇は不思議なことにその両方を肯定するのです。それはたしかになかなか理解できないことかもしれませんが、おそらくはそれゆえに、リヴィエはアンチノミーのほうばかりを強調し、スネルは人間の因果性のほうばかりを強調した。しかしヴェルナンは、ギリシア悲劇の強さはその両方が肯定されていることだと

言つたわけですね。

ヴェルナンは「オイクリスの「オイクリス王」におけるオイクリスの台詞を一例として引いています。オイクリスはアイモーンによって引き起こされた不幸(父を殺し、母を娶ふ)と自分が引き起こした不幸(目を潰す)とを同時に語ります。

しかし、A

オイクリス…おお、恐ろしいことをなされたお人、どうしてこのようにお目を損なわれた。いかなる神がそのおかし

たのは、誰でもない、不幸なおれの手だ。なにとて眼明きであることがあつたらう、眼が見えたとど何一つ楽しいものが見えぬおれに。

(「オイクリス王」,「ギリシア悲劇II」ソポクレス)

自分はたしかに事を為した。しかし、たしかにそれを強いる力が働いていたのであり、自分はそれを強いられたのだ。だが、たしかに自分は事を為したのである。私は加害者であるが被害者であり、被害者であるが加害者である。これがアンチノミーの両項を肯定するということです。被害者/加害者というのは僕が持つてきた言葉であり、ヴェルナンのものではありません。しかしヴェルナンの指摘はそのように言い換えられると思ひますし、そう言い換えることで行為者と行為者の関係、そして責任について多くのヒントを得ることができると思ひます。

僕は実はヴェルナンの論文を読んだときに、「プリズン・サークル」という映画のことを思い出しました。これはかつての厳罰主義とは違う新しいプログラムが導入されている刑務所取材して撮られた映画です。そこは受刑者同士の対話をベースに犯罪の「原因」を探りながら、そのコウセイを指す「TC (Therapeutic Community) 回復共同体」といふプログラムが導入されています。受刑者たちは自分たちが犯罪を起すに至るさまざまな経験を共有していきまふ。それはいわば神的因果性の被害者としての自分を見めることですが、それが、最終的に、人間の因果性においてとらえられた加害者としての自分を見つめることにつながる。ここにはヴェルナンがギリシア悲劇に見ていた、神的因果性と人間の因果性の同時肯定が見出せるように思われるのです。

また、最近注目されている当事者研究にも同じ思想を見出せるように思ひます。当事者研究に注目し研究を続けている熊谷

国語(B方式 11/21)

入試概要

総合型選抜

公募型学校推薦選抜

公募型学校推薦選抜

英語

数

生物

化学

国語

一般選抜

一般選抜英語

一般選抜日本史

一般選抜世界史

一般選抜生物

一般選抜化学

一般選抜数学

一般選抜国語

音楽実技

晋一郎さんは、北海道浦河町の「べてるの家」で始まったこの営みを、「障害や病気をはじめ、様々な困難を抱えた本人が、その解釈や解決を専門家や支援者に丸投げするのではなく、類似した困難を抱えた仲間とともに、研究していく取り組み」と定義しています（熊谷晋一郎「強いる他者の理解」『atプラス』第三二号）。

たとえばどうしても問題行動を繰り返してしまう人がいる。その人に対し「なぜこんなことをしたのか」と叱責するのでも、専門家がその人を診断して病名を与えても、問題行動を起した本人が自分について研究するのが当事者研究です。そして当事者研究においては、「ガイズイ化」という行動を一度単なる現象としてとらえることが重要だといわれています。それはつまり、行動を神的因果性においてとらえるということ。

神的因果性においてとらえるということは、その人を免責することです。つまり自分がやってしまった問題行動をひとつの現象として「イ」的に研究するのです。そうすると、不思議なことに、次第にその人が自分の行動の責任を引き受けられるようになるのです。つまり一度、神的因果性において行為をとらえることで、人間の因果性への視線が生まれるわけです。

みずから加害者としてとらえられるようになることは、加害者としての責任を心から感じるといっています。責任とはそうやってみずからの心の中で感じるものです。責任は英語で「responsibility」であり、「response」つまり応答に由来します。加害者の責任とは、みずからがもたらしてしまった被害と被害者に対して、自分が応答しなければならぬ心から感じる心とです。

〔中略〕

（二）でひとつの概念の対を提示しておきたいと思えます。それが「責任 responsibility」と「帰責性 imputability」です。後者の英単語はあまり聞き慣れないかもしれませんが、英語の impute という動詞に由来する名詞で、この動詞は「罪やケツカン」などがある人に帰責させる」ことを意味します。

僕らは責任について論じながら、いつもこのふたつを「ウ」しているのではないのでしょうか。帰責性は社会にとっても大切なことです。それは引き起こされた罪の帰責先を確定することであり、法律の根幹をなすといってもよい考え方で

しかし、帰責性と責任は同じではありません。帰責されたからといって、その人が責任を感じるには限らないのです。僕らは意志の概念を使って帰責することが責任の概念のコアであると信じ切っています。しかし、「これは君が自分の意志でやったことだから、君の責任だ」というこの論理のいったんどこに応答があるのでしょうか。どこにもありません。むしろこの論理が示しているのは、応答するべき人間が応答しないから、仕方なく、意志の概念を使って無理矢理に責任を押しつけているということ。つまり、意志と結びついた責任の概念というのは、一種の「エ」した責任概念なのです。

この「エ」した責任概念のために、僕らは責任と帰責性をうまく区別できなくなっています。責任と帰責性を区別することで、この「エ」した責任概念を払い除け、応答としての責任そのものを概念化することができるとはなからうか。それが僕がいま考えていることです。

〔熊谷功一郎「中動態から考える利他——責任と帰責性」による〕

注1 アイスキュロス（前五二五〜前四五六）古代ギリシアの詩人。

注2 カント（一七二四〜一八〇四）ドイツの哲学者。

注3 ソフォクレス（前四九六ころ〜前四〇六ころ）古代ギリシアの詩人。

注4 タイモーン神霊などと訳される古代ギリシア語。

注5 コロス＝古代ギリシア劇の合唱隊。劇の状況を説明するなど、進行上大きな役割を果たす。

問一——線部 a) e の漢字と同じ漢字を含むものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 1 ～ 5。

- a カシツ
① 事件のカチユウに巻き込まれる。
② カフはあざなえる縄のごとし。
③ カヒの決を取る。
④ カブンおほほめの言葉を賜る。
⑤ 風光ゼツカ。

- b ホンロウ
① 一族ロウトウを挙げて馳せ参じる。
② ごソクロウをかける。
③ 人をクロウする。
④ イロウのないように記入する。
⑤ ニューヨークのマテンドウ。

- c コウセイ
① コウキ達すべからず。
② スケジュールがヘンコウになる。
③ 次作のコウソウが浮かぶ。
④ コウをあせて失敗する。
⑤ 景気がコウタイする。

- d ガイザイ
① 世界の情勢をガイカンする。
② ガイトウする箇所に丸をつける。
③ ガイゼン性の乏しい推測。
④ ガイイを抱く。
⑤ ゾンガイな好成績を取る。

- e ケツカン
① カンプに薬を塗る。
② 道路がカンラクする。
③ イカンの意を表す。
④ カン袋の緒が切れる。
⑤ 雨がカンケツ的に降る。

問二——線部 i) iii の漢字の読み方として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 6 ～ 8。

- i 食欲 (1) ② どんよく ③ ぞんよく ④ びんよく ⑤ ほんよく
ii 背反 (1) ② せはん ③ はいはん ④ せいはん ⑤ そうはん
iii 叱責 (1) ② かつせき ③ ひつせき ④ しつせき ⑤ けつせき
(解答番号同じ)に入る最も適当な言葉を、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。(同じ記号は一度しか選ばません。)

- 問三
① ② 反面 ③ だから ④ また ⑤ 第一に ⑥ というのも ⑦ ただし

問四

ア、エに入る最も適当な言葉を、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。

- 14 ①一般 ②相対 ③範例 ④欺瞞 ⑤可及
15 ①因襲 ②独断 ③一面 ④客観 ⑤観念
16 ①排除 ②追求 ③混同 ④洞察 ⑤模索
17 ①超越 ②分裂 ③依存 ④重層 ⑤墮落

問五 線部甲「胚胎」、乙「葛藤」の意味として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑥の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 18・19。

- 18 甲 胚胎
①さまざまものが秩序なく入り乱れること。
②すでに出来上がっていて存在すること。
③ものや思いなどが映し出されること。
④もとの起こる原因を含み持つこと。
⑤あるものが生み出され増えること。

- 19 乙 葛藤
①二つ以上の思いが対立すること。
②自分から他に能動的に働きかけること。
③悲しみのために声を上げて泣くこと。
④さまざまな経験を、各地をめぐること。
⑤判断力を失うほど心が惑うこと。

問六

Aに入る最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 20。

- 20 A
①その一方を他方とともに肯定しないのです。
②その一方を他方によって受容しないのです。
③その一方を他方に還元しないのです。
④その一方を他方に還元しないのです。
⑤その一方を他方より尊重するのです。

問七

線部1「彼らのあいだには決定的に異なるニュアンスが見出されるのです」とありますが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 21。

- ① スネルは古代ギリシアに意志の概念を見出そうとし、リヴィエは人間の意志が挫かれるのが悲劇であるとスネルを批判し、ヴェルナンは意志に基づく決断が行われることもあれば行われないこともあるとその両者を同時に肯定している。
② スネルは作品内で働く超人の力を重んじて人間を加害者と見ようとし、リヴィエは自らの意図で選択できないにもかかわらず責任を負わされることを強調して人間を加害者と見ようとし、リヴィエはそのどちらの場合もありうるとも感じている。
③ スネルは断固たる決断に基づく人間の行動を読み取り、リヴィエは人間が神の運命によってホンロウウされているとし、ヴェルナンは人間の行動はそれが人自身が為すことも運命に巻き込まれ強いられて行うこともあると考えている。
④ スネルは人間が為したことが思わぬ効果を持つてしまうことを重視し、リヴィエは人間が運命の力によって自分の思うとおりに行動できないのだと指摘し、ヴェルナンはそれら二つの状況を区別することはできないと断言している。
⑤ スネルは神的原因性と人間的原因性と誤って認識しており、リヴィエは人間的原因性を認めず神的原因性のみを称揚し、ヴェルナンは神的原因性と人間的原因性は混じり合うことはあっても本質的には異なるものであると述べている。

問八

線部2「近代的な自立した人間像」とは、どういう人間像を表現しようとしたものでしょうか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 22。

- ① 自らの意図を持つている人間像。
② 決意によって行動しようとする人間像。
③ 意志に基づく行動の責任を取る人間像。
④ 運命の力に抵抗しようとする人間像。
⑤ 人間的原因性に注目する人間像。

問九

問題文の内容と一致しないものを、次のA群およびB群の①～④の中から、それぞれ一つずつ選び、マークしなさい。解答番号はA群が 23、B群が 24。

- A群
① 神的原因性の被害者としての自分を見つめることは、最終的に人間的原因性においてとらえられた加害者としての自分を見つめることにつながるが、その理由は分らない。
② 「自分の意志でしんだから」と他者から押し付けられるような責任の概念は、社会にとって大切なことであるが、その人がみずからの心の中で責任を感じているとは限らない。
③ 受刑者同士の対話で犯罪の原因を探りコウセイをめざすプログラムには、神的原因性と人間的原因性の同時肯定の思想が見出される。
④ 帰責性を意味する責任の概念においては、責任を心から感じることができるとかが主体の意志の強さによって左右される。

24 B群

- ① 古代ギリシアに意志の概念はなかったものの、故意に行なったことを意味するヘコーンなどの言葉があり、殺人とカシツ致死を区別する概念装置はあった。
② 意志の概念は歴史上のある時点で生まれたものに通きず、行為と行為者の関係を常に意志を通じて捉えようとすることは問題がある。
③ ヴェルナンの指摘を言い換えると、人間的原因性と神的原因性が両立しうるものがギリシア悲劇であり、ある行動を為した人間が被害者であるか加害者であるかは決定できないということになる。
④ 近代的な考え方においては、神的原因性を認めるとその人を免罪してしまうことになり、人間的原因性に注目すると運命の力を無視することになってしまう。

(国語①問題 おわり)

国語 ②

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は 1 ～ 23。

むかし弓をたしなむ人あり。ひとり夜みちゆく。おのがわざなれば、秘めにし弓に矢を十筋取りそへて出でけるが、また道にて小竹原にいりて、篠二本切り、矢のたけにくらべ、ねをそき、箆をつけて、十筋の矢にとりそへてもどけり。さてゆくに、道の真ん中に、その色黒きものあり。人よりは小さうして、さらに動かす。「のけ」といへどいらへず。³「いかさまに、きつねむじなるべし」とおもひ、矢を放ちて見るに、手こたしてあたると見しも、飛びのくおと、かねなどいるがごとし。しかれども、やをらはたらきませず。またいるものはじめのごとし。一筋一筋と見るほどに、十筋みないて、ただ一本残れり。このとき、かものうごきて、上にかつきし物をわきへのけて、飛びかかるを、残る一筋にて射止めたり。さて間近く見れば、ためきにて、上にかつきしはなべなり。おそろしきたくみにあらずや。その十の数知りしにや。また十は数の常にして、ものごとこれを用ゆ。たぬきすらそれをくりうかがふ。まして人なんど智にはかんがふべきをや。きりそへて十一にしてゆきしは心にく侍る。秘事はまつげのごとく、これ弓法の徳なりといへり。すべて人にぬき出て芸ある人は、つねづねの心がけも格別なりけらし。このことに限らず、気をつけ心をくばらば、ものごとよくととのふべきものをや。三番のあとの外に、なほ物に心得たる人こそ、世の中の宝なめれ。如夢僧都の烏帽子も、河風すまぶをりからは、ひとかど晴れの用にたてり、とあればとて、四明年にことごとく人も、我においてうるさし。⁸

〔御物語による〕

注1 苦 弓の兩端の弦をかけること。

注2 あど いかづちのこと。

注3 如夢僧都 平安時代の僧。藤原出雲の五男。

注4 四明年に 11しこと。

問一 線部 a「いり」、b「いる」について、「い」に当てられる漢字と活用の種類の組み合わせを、それぞれ次の①～⑧の中から一つずつ選び、マークしなさい(同じ記号を何度選んでもかまいません)。

- 1 aが、bが
2 aが、cが
3 aが、dが
4 aが、eが
5 aが、fが
6 aが、gが
7 aが、hが
8 aが、iが
9 aが、jが

問二 線部1「矢のたけにくらべ」、4「やをらはたらきませず」の現代語訳として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 1 が 6、4 が 7。

- 1 「矢のたけにくらべ」
2 矢の長さに合わせて
3 矢の数を比べて
4 矢の機能を竹に近づけて
5 矢の形にそえて
6 「やをらはたらきませず」
7 急いで進もうとしない
8 おもむろに反撃もしない
9 全く反応もしない
10 いったん動こうともしない
11 ゆつたりして動揺もしない

問三 線部2「いらへず」、3「いかさま」の意味として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 2 が 8、3 が 9。

- 1 隠れもしない
2 返事をしない
3 退こうとしない
4 正体を明かさない
5 いらだたない
6 「いかさま」
7 悪だくみをする
8 もしかすると
9 にせもの
10 なるほど
11 きっと

入試概要
総合型選抜
公募型学校推薦選抜
英語
数
学
生
物
化
学
国
語
一般選抜
一般選抜英語
一般選抜日本史
一般選抜世界史
一般選抜生物
一般選抜化学
一般選抜数学
一般選抜国語
音楽実技

問四 ――線部5「おそろしきたくみにあらずや」とは、どのようなことについて言っているのでしょうか。最も適当なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **10**。

- ① 「弓をたしなむ人」が、最後の一本の矢を隠しておいて、だまして射止めたこと。
- ② 「弓をたしなむ人」が、なかなか仕留めることのできなかつた獲物を見事に射止めたこと。
- ③ 「弓をたしなむ人」が、相手が何者か分からないままに矢を射続けたこと。
- ④ 「たぬき」が、十という数を認識して、十本の矢を綱で防いでいたこと。
- ⑤ 「たぬき」が、綱をかぶつてその正体を隠して、人の目をごまかしていたこと。
- ⑥ 「たぬき」が、人に飛びかかる隙を狙って、動かないふりをしていたこと。

問五 ――線部6「まして人なんどの智にはかんがふべきをや」とは、どのようなことですか。最も適当なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **11**。

- ① 人の悪知恵などはたぬきよりさらに悪質であるので気をつけた方がよい。
- ② 人はたぬきに比べればはるかに知恵が勝ることを知っておくのがよい。
- ③ 人の知恵というものはたぬきよりもっと優れているので手本とするのがよい。
- ④ たぬきの知恵は人などよりも優れていることを思い知った方がよい。
- ⑤ たぬきにもまして人は思いもよらないことを考えるので、注意した方がよい。

問六 ――線部7「秘事はまつげのごとく」とは、どのような意味ですか。最も適当なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **12**。

- ① 大切なことは小さくして見逃してしまいが
- ② 秘密は人に見せないものであるが
- ③ 知られたくないことは隠すものであるが
- ④ 秘伝は自分の身近なところにあるが
- ⑤ ささいなことは目に見えないものであるが

問七 ――線部8「如夢僧都の烏帽子」について、「沙石集」に次のようにあります。読んで、後の問いに答えなさい。
如夢僧都は大井川の御幸に、三衣箱の底に、烏帽子を **あ** も用意して、和泉の大將の烏帽子を、河風の水に吹き入れたりける時、取り出だして高名し給ひけるとこそ申し伝へ侍りし。

- (1) **あ** に入る最も適当な言葉を、次の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **13**。
- ① ばかり
 - ② こぞ
 - ③ し
 - ④ だに
 - ⑤ しか
- (2) 「沙石集」の話における「烏帽子」は、問題文（御伽物語）中では何に当たるでしょうか。最も適当なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **14**。
- ① 知恵のあるたぬき
 - ② 攻撃を防ぐ綱
 - ③ 数の常である十
 - ④ 芸のある人
 - ⑤ 十一本の矢

問八 「今昔物語集」には、如夢僧都の幼少の頃の話しとして、船から海に投げ出された時に亀に助けられた話が見られます。若君（如夢僧都）が亀に助けられた後の父・山蔭（帥）の様子を描いた次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

かくて船を出だして行く間に、帥、よもすがら肝心碎けていねざりければ、昼寄り臥して寝入りける夢に、船のそばに、大きな亀、海より首を指し出で、我に、**a**「もの言はむ」と思ひたる気色あり。されば、我、船の端に指し出でたれば、亀なりといへど人の言葉のごとくして曰く、「忘れさせ給ひにけるや。一年、我、河尻にして鵜飼のために釣り上げられたりしを、買ひ取りて放たしめ給ひしところの亀なり。その後「いかにしてかこの恩を報じ申さむ」と思ひ、年月を過ぐるに、帥に乗りて下り給へば、「お送りをたにせむ」と思ひて、御船に添ひて行く間に、夜前鐘が御船に響いて、継母の、若君を抱きて船の高欄を打ち越して、取りはづすやうにして海に落とししかば、それを甲の上受け取り、御船に運れじとかき参りつるなり。今行く末もこの継母に打ち解け給ふことなれ」と言ひて、海に首を引き入れつと、目見て夢覚ぬ。

- (1) ……線部a～cの「我」は誰を指しますか。それぞれ次の①～⑥の中から一つを選び、マークしなさい。（同じ記号を何度選んでもかまいません）。解答番号は **a**が **15**、**b**が **16**、**c**が **17**。
- ① 若君
 - ② 亀
 - ③ 継母
 - ④ 帥
 - ⑤ 漁師
- (2) 「今昔物語集」の内容に一致するものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **18**。
- ① 帥はかつて亀を釣り上げたことがあったことを思い出した。
 - ② 継母は船の高欄を乗り越え若君を助けようとしたが、失敗した。
 - ③ 帥は船の上で眠ってしまったところを、亀に起こされた。
 - ④ 亀は帥への恨みのために、船の後を一年間追いつけていた。
 - ⑤ 亀が帥に真実を伝え、継母と距離を置くよう忠告した。

問九 ……線部「三番のあと」について、説明した次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この「三番のあと」は、どのようなことを指すのか不明であるが、「論語」に次のような文章がある。
季文子、三思而後行、子聞之曰、再斯可矣。
これは「季文子」が「三思而後行」という行動を聞いて、「三」が「再斯可矣」と言った、という意味である。「矣」はここでは訓読しないが、**A**の意味を添える助字である。

- (1) ……線部A「三思而後行」を読み下すところのようになりますか。最も適当なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **20**。
- ① さんしてしかもあとにおこなう
 - ② さんとおもへどもうしらへゆく
 - ③ みたびおもひてのちにおこなう
 - ④ みつおもひしかしてのちにゆく
 - ⑤ さんかいじするにこうする
- (2) ……線部イ「子」とは、何を指しますか。最も適当なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **21**。
- ① 季文子の子
 - ② 孟子
 - ③ 君子
 - ④ ねずみ
 - ⑤ 烏帽子
 - ⑥ 孔子

(3) A に入る言葉として最も適当なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。

解答番号は **22**。

- ① 意志 ② 完了 ③ 断定 ④ 命令 ⑤ 疑問

(4) ……線部ワ「再斯可矣」は、問題文(御伽物語)における筆者の主張と似ています。両者はどういうことを言

おうとしているのか、最も適当なものを次の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は **23**。

- ① 事前に十分な用意をすることは必要だが、あまり念を入れすぎることは好ましくない。
 ② 周囲に対しても再三心配りを行うことにより、人のために役に立つことができる。
 ③ 事を行うに当たり、慎重であればあるほど、よい成果を得ることができる。
 ④ 常々の心がけが優れている人は、人に抜きん出た能力を身につけることができる。
 ⑤ 人から評価されようとして、しつこいほどに用意周到である人は、わずらわしい。

(国語②問題 おわり)